



千八百七十九年八月廿日發兌巴里「ドル」新「抄譯」
「ビスマルク」候ノ貨幣政策

藏者
翻譯

4254



414
A1765



抄譯

八百七十九年八月

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄

トスマルク侯ノ貨幣政策

吾輩ハ素ヨリ未タ日耳曼政府ニ於テ金貨ノ單本位ヲ金銀兩貨
複本位ニ改メントスル事ニ付テハ何等確報ノ松ルヘキモノヲ
得スト雖氏日耳曼政府カ將ニ其貨幣政策ヲ变革セント欲スル
ノ徵候ハ現ニ明々亮々トシテ更ニ疑ノ容ルヘキナシ然リ而シテ
談政府カ变革セント欲スルノ意ニ就キ吾輩ハ既ニ前日ノ紙上
ニ於テ其万国政府ト同盟ノ上ニ金銀兩貨複本位ノ制度ヲ採用
スルノ他ナカルヘキヲ論シタリ今ノ日耳曼政府カ金貨本位ヲ
廢シテ再ヒ銀貨本位ニ復セントスルノ意アルカ如ク之ヲ論ス
ル諸新聞紙ノ説ハ誤見モ亦見レシト云フヘシ此輩ハ宜シク再

414
A1765



抄譯

八百七十九年八月二十一日發兌巴理ブルス新貨

ゴスマルク侯ノ貨幣政策

吾輩ハ泰ヨリ未タ日耳曼政府ニ於テ金貨ノ單本位ヲ金銀兩貨
 復本位ニ改メントスル事ニ付テハ何等確報ノ概ルヘキモノヲ
 得スト至ル日耳曼政府ハ其貨幣政策ヲ改革セント欲スル
 ノ徵候ハ現ニ明々亮々トシテ更ニ疑ノ容ルヘキナシ然リ而シテ
 該政府ハ改革セント欲スルノ意ニ就キ吾輩ハ既ニ前日ノ紙上
 ニ於テ其万国政府ト同盟ノ上ニ金銀兩貨復本位ノ制度ヲ採用
 スルノ他ナカルヘキヲ論シタリ今ノ日耳曼政府カ金貨本位ヲ
 察シテ再ヒ銀貨本位ニ復セントスルノ意アルカ如ク之ヲ論ス
 ル諸新聞紙ノ説ハ誤見モ亦見ラレシト云フヘシ此輩ハ宜シク再

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄

本書横文

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

十九年八月二十一日發兌巴理ブルルス新貨

ル少候ノ貨幣政策

日且曼政府ニ於テ金貨ノ軍本位ヲ金銀兩貨
トスル事ニ付テハ何等確報ノ概ルヘキモノヲ
曼政府カ將ニ其貨幣政策ヲ变革セント欲スル
カ亮々トシテ更ニ疑ノ容ルヘキナシ然リ而シテ
ト欲スルニ就キ吾輩ハ既ニ前日ノ紙上
府ト同盟ノ上ニ金銀貨複本位ノ制度ヲ採用
ヘキヲ論シタリ且曼政府カ金貨本位ヲ
本位ニ復センニスルノ意アルカ如ク之ヲ論ス
誤見モ亦見シト云フヘシ此輩ハ宜シク再

本書横文ハコトニワケソンノ送呈係ル

三再四事理、在ル所ヲ熟考シテ其迷夢ヲ覺シ己ニ悟ラハ読者ニ對シ明ラカニ前説ノ誤見ニ出テタルヲ陳謝シテ可ナリ斯ク云ハ、人或ハ之ヲ駁セシゴ、ハ既ニ誤件ニ付テハ未タ何等ノ確報ヲ得スト明言セリ而シテ日耳曼内閣ノ決議未タ世間ニ漏レガルニ先ワテ足下今此決案ヲ下ス抑モ何ノ拠トコロアリテ然ルヤ若シ他者ノ考案ヲ當ナラスト云ハ、足下ノ考案モ亦是レ一已推摩ノ億測ニ過キカル可シト此攻撃ヤ寔ニ一理ナキニ非ラスト岳氏若シ通債事件ニ関シ日耳曼目今ノ形情ヲ洞察シテ貨幣政策ノ運行上ニ活眼ヲ注カハ必ス最初ヨリ斯ノ如キ反對想像ノ心腦ニ現スル地ナカルヘシ且ツ外レ此銀貨ノ現時日耳曼国内ニ流通スル全額ハ僅カニ約リ三億五千万乃至四億ヲルシク一カニ我カニ過キカル全貨ノ鑄造額ハ既ニ拾七億以上ニ達セシ今日ニ於テ尚ホ斯ル反對ノ偏見ヲ固執主

張スルハ頗ル不都合無益ノ事ト云ハサルヲ得ンヤ前述べノ如クナルヲ以テ日耳曼政府カ改正セント欲スルノ意ハ蓋シ全銀貨復本位ニアリテ他事ニアラス且ツ前ニモ論述セシ如ク今日ノ評議ハ此目的ナルニ相違ナキト吾輩ノ信レテ疑ハサル所ナリ兄ヤビスマルク侯ハ全銀貨復本位ノ目的ヲシテ結果ヲ完カラシメン為メ米國ワシントン府ノ内閣ニ謀議スル所アリシノミナラス吾輩カ一兩日前ニ於テ読者ニ報道セシ米國ヨリノ通信ハ曾テ締盟セシ万国貨幣會議ヲ更ニ招集セントスルノ事タルヲ確カニ考定スルニ足ラシムルニ於テヤヤ借今ヤ吾輩ハ英才ノ圃アル政治家(ビスマルク侯ヲ指スカ)カ自カラ此事件ニ預ルヲ見ル誠ニ吾輩ノ満足ニ堪ヘサル所ナリ曾テ万国貨幣會議ノ下始メテ起ルヤ甲ハ乙ニ譲リ乙ハ又避ケテ丙ニ譲リ丁モ戊モ皆然リ故ニ以テ未タ毫モ改良ノ結果ヲ目ニ

大歳

觸レサルハ勿論次第ニ改良ニ赴カントスルノ勢タモ見ハサル
ヲ如何センヤ當ニ然ルノミナラス却テ事物ハ日ニ月ニ有害リ
難域ニ向テ進行セリ何トナレハ日ニ在テハ銀貨ヲ以テ本位
トスルヲ是認シ又ハ然ラサルモ必ズ金銀兩價本位ヲ是認ス可
キ所ノ國々ヲレテ今日ハ公然ト金貨本位ヲ布告スルニ至ラ
シメタレハナリ夫レ吾輩カ從來金貨本位ノ國ヲ例攀スルニ
ハ獨リ南米利加ノ共和政治國教邦ヲ以テスルノミナリシカ
今ヤ之ニ雷同スルモノルマニ國、^ノブルガリヤ國、瑞典國、丁林
國、^ノル、^ノエ、^ノ日、^ノ及ヒ其他數國ニ及ヒタリ素ヨリ是等教國ノ如キ
ハ一モ貿易上ニ大關係アルノ國柄ニアラスト蓋ヒ竟ニハ自他
ノ國々ニ感染ヲ及ホスマ未タ知ルハカクテ果シテ然ルハ
金流通ノ藩圍迄ニ擴張スルノミニシテ而カモ此種ノ社會(貿
易ノ盛大ナラサル國々ヲ云フカニハ殊ニ必要ナルヲモ無ク又

別ニ利益モ無カルヘキナリ
或ハ又英國人ノ口癖ニ何事モ其俟ニ捨置クヘシハソ物事ハ他
ノ干渉ヲ待タス自ツカラ正理ニ就クモノアレハ左ノミ心ヲ苦
シメサルモ焉ソ知ラン天然ノ療法ニ由テ難患ヲ醫治スルノ時
アル可シト云フヲ聞キ諒件(万国會議ニ由テ貨幣制度ヲ一定ス
ル事ヲ指スカ)ノ如キハ到底一決ノ結果ヲ見ルヲ難カルヘシト
ヒテ抛ツテ放棄スル者アルモ未タ知ル可カラス然レハ此格言
ノ如キハ有害無二ノ妄説ニシテ吾輩ノ最モ擯斥スル所ナリ然
ル所以ノモノハ何ソヤ曰ク此ノ有害無二ノ妄説ヲ出セル國ニ
シテ自カラ銀ノ為メニ年々損耗スル額ノ大ナルハ實ニ測ルハ
カラス就テハ物事ハ自然ニ正理ニ就クモノニアラス之ヲ放任
シテ願ミサルハ(正理ニ就クハサテ置キ)年ニ月ニ愈益難極ニ
向ツテ深進シ竟ニ救フ可カラサルニ陥ルヲ夙ク看破セサル

ヲ得カレハナリ

当否ノ理論ハ暫ク置キ素ト銀カ其前日ノ地位ヲ失フニ至リル
ハ法律ノ改正ニ由リテ然ルナリ然レハ今又之ヲシテ前日ノ地
位ニ復セシメントスルニハ法律ノカヲ藉ルニアラスシハ何物
カ能ク効ヲ奏スルヲ得ンヤ故ニ今宇内ノ諸大國カ其法律ヲ
改正シテ更ニ金銀両貨本位ノ制度ヲ設定シタランニハ当百年
期ノ始メヨリ數年前マテ連綿ト維持シ來リテ而カモ各人ノ心
意ヲ満足セシメタリシ所ノ旧慣再々世上ニ復行セラル、ノ幸
緒ヲ開キ此時ヨリシテ又々誰レ一人ノ力トシテ此ノ事ヲ又ハ
アロリシ。若シクハ「ファイフ、フランク、ポース」共ニ銀貨ヲ取扱フ
際運搬ノ不便ヲ訴フルモノ無キニ至ル

夫レ今日貨幣上ノ困難擾乱ヲ全世界ニ喚起セシハ全ク日耳曼
國ニ於テ「ビスマルク」侯ガ俄クニ白銀ノ貨幣タル爵位ヲ褫奪セ

シノ罪ニ由ルナリ然ハ則チ再々之ヲ本ニ復シテ事物ノ正理ニ
就カシムルヲ謀ルノ義務ハ正カニ「ビスマルク」侯ニ係ラスレ
テ誰ニカ係ル蓋シ此事タルヤ實ニ輕々タル一小件ニアラザル
ヲ以テ眼ヲ此問題ニ注テ結果ノ如何ト共ニ心ヲ痛快ノ間ニ措
ク者ハ偏ヘニ事ノ速ク整頓ニ就カンヲ侯ニ依頼スルノミ



